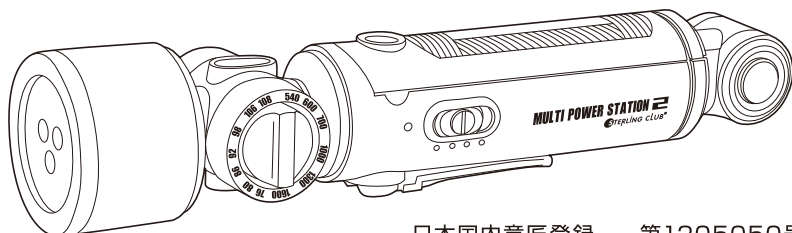


マルチパワーステーション2

取扱説明書



日本国内意匠登録 第1205050号

このたびは「マルチパワーステーション2」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライト及び蛍光灯を直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものをまぜたり、アルカリ電池とマンガン電池をまぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

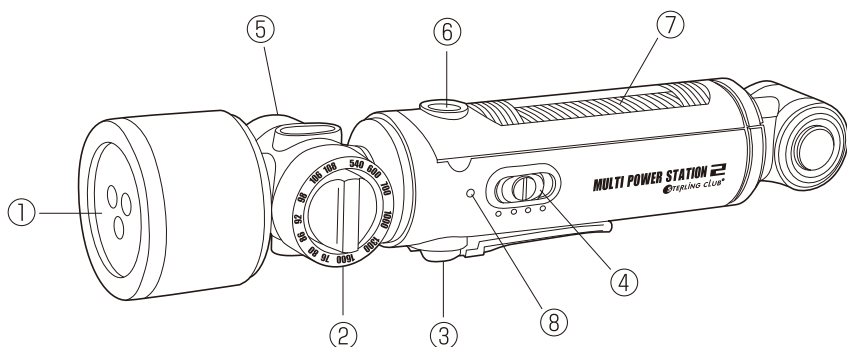
5605C マルチパワーステーション2取扱説明書

も く じ	1
1. 基本機能	2
2. 各部名称	2
3. 付属品名称	3
4. 電 源	4
5. 電源と機能切り換えスイッチについて	4
6. 乾電池の入れ方	5
7. 本体への充電	6
① USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電	6
(a) パソコンからの充電:	6
(b) AC/USBアダプター(別売)からの充電:	7
② 「太陽電池パネル」からの充電	8
③ ダイナモハンドルからの充電	9
8. LEDライトまたはランタンを使うには	10
9. ラジオ(FM/AM)を使うには	11
10. イヤホンを使用するには	12
11. サイレンを使うには	12
12. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)	13
① 乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法	13
② 内部電源から携帯電話を充電する方法	14
③ アイフォーンを充電する方法	15
④ Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	16
携帯電話接続コネクターのさし込みのご注意	17
13. 各機能の使用時間の目安	18
仕 様	20
ショルダーベルトについて	21
保証規定	21
保 証 書	22

1. 基本機能

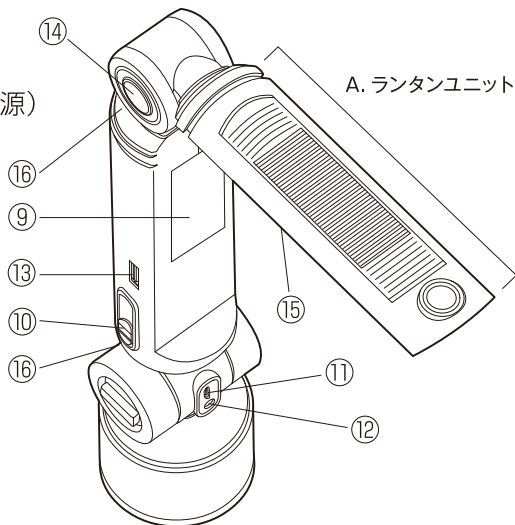
- LEDライト(白色LED3灯)
- ラジオ(AM/FM/ワイドFM)
- サイレン(点滅灯)
- ランタン(白色LED4灯)
- プラグイン携帯電話充電機能

2. 各部名称



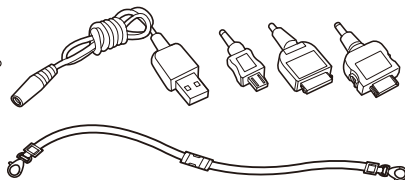
- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ① LEDライト:点滅灯(サイレン時) | ⑤ ラジオスイッチ/音量ダイヤル |
| ② ラジオ選局ダイヤル | ⑥ ライト/切/ランタンスイッチ |
| ③ ダイナモハンドル | ⑦ 太陽電池パネル |
| ④ 機能切換スイッチ
(USB出力/FM/AM/サイレン) | ⑧ インジケータランプ |

- ⑨ 電池ボックスフタ
- ⑩ 電源スイッチ
(電源・切/電池/内部電源)
- ⑪ DC-IN端子
- ⑫ イヤホン端子
- ⑬ 携帯電話充電端子
(USB出力端子)
- ⑭ スピーカー
- ⑮ ランタン
- ⑯ ショルダーベルトフック
(2箇所)



A. ランタンユニット

※本体からおよそ120度
引き上げることができます。



3. 付属品名称

- 携帯電話充電ケーブル(USBプラグ)
- 接続コネクタ3種
 - ・緑ラベル…スマートフォン用 (microUSBプラグ)
 - ・オレンジラベル…au用
 - ・青ラベル…FOMA・Softbank3G用

※表記の社名または商品名は、
各社の商標・登録商標です。

- ショルダーベルト1本
- 大地震対応マニュアル
- 取扱説明書/保証書(本書)



4. 電 源

1. 内蔵充電電池：内蔵ニッケル水素充電電池 (Ni-MH型、3.6V/600mAh)
2. 単3乾電池×3本 (別売)
3. ダイナモハンドル
4. 太陽電池
5. AC/USBアダプター：5V500mA (別売)

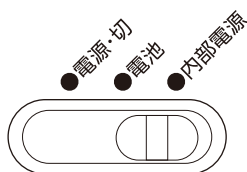
5. 電源と機能切り換えスイッチについて

※LEDライト・ラジオ (FM/AM)・サイレン・ランタンのいずれかの機能を使う場合は、本体側面の⑩電源スイッチを「電池」もしくは「内部電源」に合わせてください。【図1】

※LEDライト・ラジオ (FM/AM)・サイレン・ランタンの機能を使わない場合は、本体側面の⑩電源スイッチを「電源・切」に合わせてください。【図1】

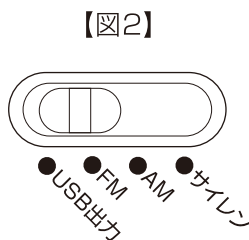
※携帯電話充電をおこなう時は本体側面の④機能切換スイッチを「USB出力」に合わせてください。【図2】

※ラジオやサイレンを使う時は、④機能切換スイッチを「FM」「AM」「サイレン」に合わせてください。【図2】



⑩電源スイッチ

【図1】



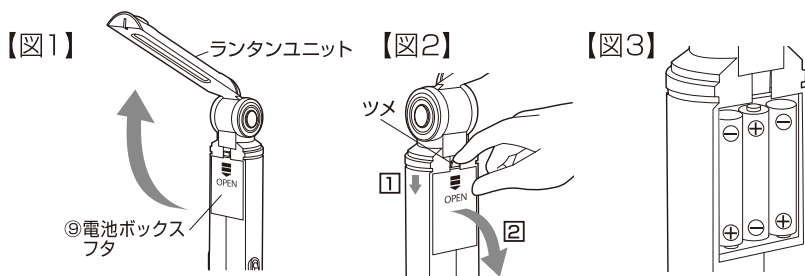
【図2】

④機能切換スイッチ

6. 乾電池の入れ方

◎単3乾電池×3本使用(別売)

1. 【図1】のようにランタンユニットを引き上げてください。
※⑥ライト/切/ランタンスイッチの両サイドの凹み部からランタンユニットを持って引き上げてください。
※本体からおよそ120度引き上げることができます。
※ランタンユニットの開閉時、それぞれ5、6回「カチッ」と大きな音が鳴りますが、故障ではありません。
2. ランタンユニットの内側の本体にある⑨電池ボックスフタを開けてください。【図2】
※⑨電池ボックスフタの⑩ツメを下にして、⑪フタを取り外してください。
※フタは取り外し式です。紛失にご注意ください。
3. 単3乾電池3本を方向を間違えずに正しく入れてください。【図3】
※バネのある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側からセットしてください。
4. 乾電池で各機能を使用する場合⑩電源スイッチを「電池」側に合わせてください。
※乾電池によるご使用の目安につきましては
13.各機能の使用時間の「乾電池でのご使用時間の目安」
(19頁)を参照してください。



- ランタンユニットの開閉時に指を挟まないようご注意ください。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池、新旧の乾電池、種類の違う乾電池等を混ぜたりして使用しないでください。発火、破裂や液漏れのおそれがあります。
- ※長期間ご使用にならない場合、本機から乾電池を抜いてください。液漏れのおそれがあります。

7. 本体への充電

※本体内部に蓄電池を内蔵しています。

※蓄電池への充電は1.外部USB機器、2.AC/USBアダプター(別売)充電、
3.太陽電池パネル、4.ダイナモハンドル充電の4種類の充電方法があります。

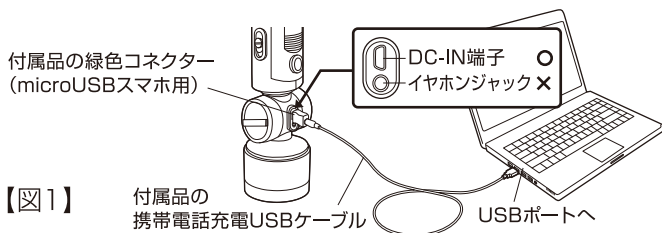
④ USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電

※パソコンのUSBポートや別売のAC/USBアダプターのUSBポートから本体へ充電することができます。

(a) パソコンからの充電:

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

1. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
※乾電池やアダプターはセットしないでください。
2. LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
3. 付属品の携帯電話充電USBケーブルのUSBプラグ側をパソコンのUSBポートに差し込み、ケーブルの反対側に緑色コネクタ(microUSBスマホ用)を取り付けて本体の⑪DC-IN端子に差し込んでください。【図1】
※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
4. この状態で本体の充電が開始され、⑧インジケータランプが赤く点灯します。
(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3時間経過しましたら、必ずパソコンから抜いてください。)
5. 約3時間で満充電になりLEDライトで約5時間、ランタンで約30分、ラジオで約12時間、サイレンで約2時間のご使用が可能です。

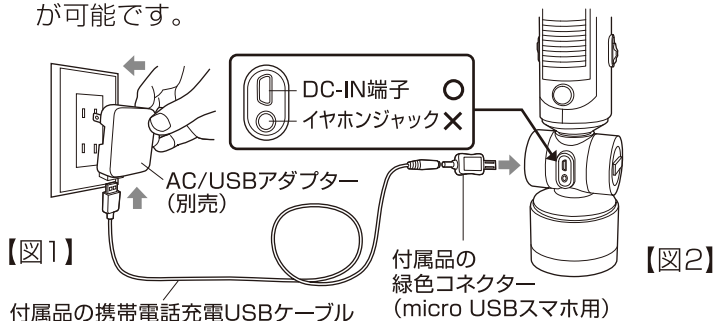


注意 内蔵充電電池を2時間以上充電した場合、本体側面の表示部(MULTI POWER STATION 2)周辺にある内蔵充電電池が30～40度程度熱くなりますが、ご使用には問題ございません。

(b). AC/USBアダプター(別売)からの充電:

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

1. 当社指定の専用AC/USBアダプター 5V500mA(品番 5848)をお買い求めください。
2. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
※乾電池はセットしないでください。
3. LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
4. 専用のAC/USBアダプターに付属品の携帯電話充電ケーブルのUSBプラグ側を差し込み、図の様に家庭用(100V)コンセントに接続してください。【図1】
5. 携帯電話充電ケーブルの反対側に付属品の緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)を差し込み、本体の側面の⑪DC-IN端子に差し込んでください。【図2】
※付属品の緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
6. この状態で本体の充電が開始され、⑧インジケータランプが赤く点灯します。(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3時間経過しましたら、必ずコンセントから抜いてください。)
7. 約3時間で満充電になりLEDライトで約5時間、ランタンで約30分、ラジオで約12時間、サイレンで約2時間のご使用が可能です。



内蔵充電電池を2時間以上充電した場合、本体側面の表示部(MULTI POWER STATION 2)周辺にある内蔵充電電池が30～40度程度熱くなりますが、ご使用には問題ございません。

⑧「太陽電池パネル」からの充電

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※太陽電池パネルからの充電は、満充電を想定したものではありません。

本体内蔵充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。

※充電は太陽光から行います。

1. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。【図1】

※乾電池やアダプターはセットしないでください。

2. LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。

3. ランタンユニット部分にある⑦太陽電池パネルを太陽光の直射日光に当ててください。太陽光の方向によってはランタンユニットを引き上げて直射日光に当ててください。【図2】

※なるべく太陽光線がパネル面に直角に当たるように置いてください。

※充電後は⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。

本機をご使用になる時には「内部電源」に合わせてください。

※太陽電池による充電中に携帯電話には直接充電が出来ません。

※充電時間と使用時間の目安に関しては13.各機能の使用時間の目安の表「太陽電池による充電の目安」(18頁)を参照してください。

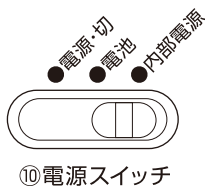
※太陽電池による充電中は⑧インジケータランプが赤く点灯します。

※室内の明るい場所でも、⑧インジケータランプが点灯しますが、室内灯では充電しません。

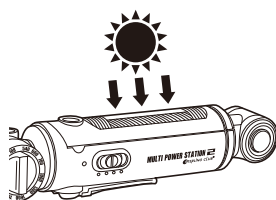
※太陽電池パネルにある銀色のラインが断線している場合がありますが、太陽電池を使用するにあたって特に問題はありません。

※太陽充電を行う場合、ダイナモハンドルを100回転以上させてから太陽にあててください。より良く充電されます。

※長期間外に出さないでください。変形・変色の原因となります。



【図1】

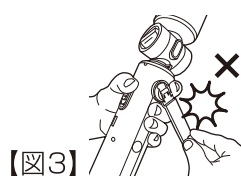
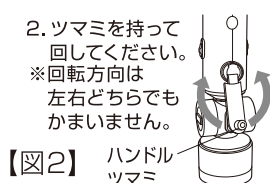
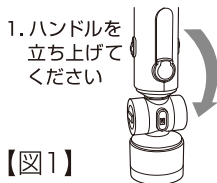



③ ダイナモハンドルからの充電


※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※ダイナモハンドルからの充電は、満充電を想定したものではありません。本体内蔵充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。

- ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
※乾電池やアダプターはセットしないでください。
- LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
- ③ダイナモハンドルを本体から立ち上げてください。【図1】
- ③ダイナモハンドルのつまミを持って回してください。【図2】
※ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。
※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。
(ハンドルはゆっくりと！速く回しても充電量が増えたり充電時間が短くなることはありません。)
※ハンドルを回す時に、指をはさまないように、ご注意ください。【図3】
※ハンドルを回す際、ショルダーベルトにお気をつけください。
本体やハンドルに絡まると破損したり、ケガをする恐れがあります。【図3】
※内蔵充電電池の寿命はきわめて長く、通常の使用においては、交換の必要がありません。
※③ダイナモハンドルの充電で、市販の乾電池およびニッケル水素電池等に充電することはできません。
※充電後、⑩電源スイッチを「内部電源」に合わせてご使用ください。
※ダイナモ充電中は⑧インジケータランプが赤く点灯します。
※ダイナモハンドルでの携帯電話の使用時間につきましては13.各機能の使用時間の目安の表の「ダイナモハンドルによる充電時間の目安」(18頁)を参照してください。



 ダイナモハンドルを本体と平行に回してください。【図2】ハンドルを本体より内側方向に強く押さえこむとハンドルが破損する恐れがあります。

 ハンドルを回す時に指をはさまないように、ご注意ください。ケガをするおそれがあります。【図3】

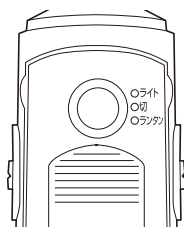
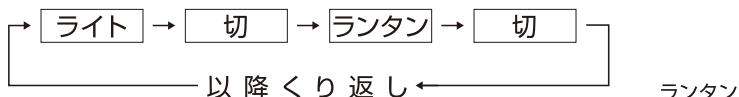
禁止

8. LEDライトまたはランタンを使うには

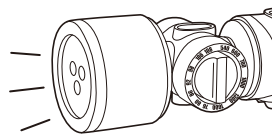
1. 乾電池を使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池を使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。

(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7(5、6、7、8、9頁)をそれぞれ参照ください。)

2. ⑥ライト/切/ランタンスイッチ【図1】を1回押すと①LEDライトが点灯します。【図2】もう一度押すと①LEDライトが切れます。
3. さらにもう一度⑥ライト/切/ランタンスイッチを押すと⑮ランタンが点灯します。【図3】もう一度押すと⑮ランタンが切れます。以降、点灯と切のくり返しになります。

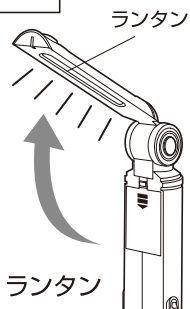


【図1】



LEDライト

【図2】



ランタン

【図3】

※ランタンを使用する場合は、ランタンユニット【図3】を立ち上げてください。

※ランタンユニットの開閉時それぞれ5、6回「カチッ」と大きな音が鳴りますが故障ではありません。

※①LEDライトおよび⑮ランタンの電球交換はできません。(寿命約4万～5万時間)



注意

ランタンユニットの開閉時に指を挟まないようご注意ください。



禁止

①LEDライト及び⑮ランタンが点灯している間は、光を直視しないでください。視力障害の原因となります。

9. ラジオ(FM/AM)を使うには

●FM/ワイドFM周波数:76~108MHzの表示内で受信可能。

●AM周波数:540~1600kHzの表示内で受信可能。【図1】

1. 乾電池を使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池を使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7(5、6、7、8、9頁)をそれぞれ参照ください。)
2. ④機能切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
3. ⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。更に回すと⑭スピーカーから音が鳴りますので、適当な音量に調節してください。【図2】
4. ②ラジオ選局ダイヤルを回して、お聞きになりたい放送局に合わせてください。周波数が適正な位置に合うと⑧インジケータランプが緑色に点灯します。【図3】
5. スイッチを切るときは、⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを反時計回りに回し「切」の位置に合わせてください。

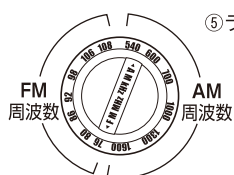
※この時「カチッ」と音がしますので必ず確認してください。この音はラジオの電源が切れる音です。さらに、⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせておくと確実です。

※ラジオを聴き終えたあと、音を小さくしただけでは電力が入ったままとなり乾電池が消耗します。必ず「カチッ」と鳴るまで⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを戻してください。

※ラジオ(FM/AM)をお聴きになっている時もLEDライト又はランタンを同時使用することが可能です。

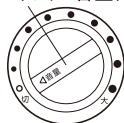
※FM電波はその特性上、室内など場所によって受信しにくい場合があります。その際は本体を電波の受信状況の良い方向や場所を選んで使用してください。

※テレビやパソコンなど家庭用電化製品のそばでラジオを聴くと、ノイズが入る場合がありますので、電気機器から離してラジオをお聴きください。

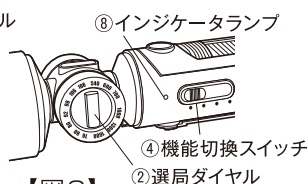


【図1】

⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤル



【図2】



【図3】



ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。大きな音は聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

10. イヤホンを使用するには

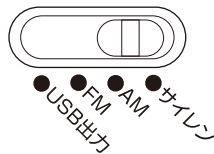
- ※イヤホンは付属していません。お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンをご利用ください。
- ※お手持ちのイヤホンを利用して、⑭スピーカーから音を消して、イヤホンだけでラジオ放送をお楽しみになれます。
- ※イヤホンの先端プラグを⑫イヤホン端子に差し込んでください。あとは前記のラジオの使い方をご覧ください。



音量の調整にご注意ください。イヤホンをしたまま音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かない様にしてください。大きな音は耳の障害になる恐れがあります。

11. サイレンを使うには

1. 乾電池を使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池を使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7(5、6、7、8、9頁)をそれぞれ参照ください。)
2. ④機能切換スイッチを「サイレン」に合わせてください。【図1】サイレンが⑭スピーカーから鳴ります。
3. サイレンが鳴っている間は①LEDライトが点滅します。
4. サイレンを止める場合は④機能切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
(さらに、⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせておくと確実です。)



【図1】④機能切換スイッチ



イヤホン装着時の注意
イヤホン装着時はサイレン音量はすべてイヤホン側に出力されます。サイレンを使用する際には必ずイヤホンを⑫イヤホン端子から抜き取ってください。
イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

12. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)

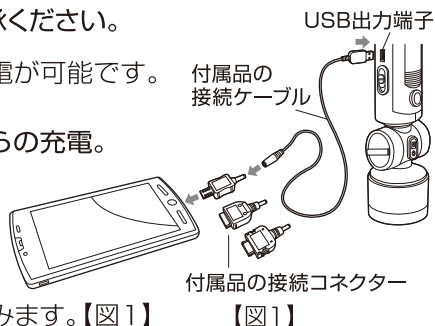
※携帯電話への充電は緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

1. 携帯電話の充電は下記の条件で充電が可能です。

※アルカリ乾電池からの充電。

※フル充電された本体内部電源からの充電。

2. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクタをお選びください。携帯電話充電ケーブルのもう一方のプラグを⑬携帯電話充電端子(USB出力端子)に差し込みます。【図1】



※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

④ 乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法

※使用する乾電池は必ず新品のアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池では充電できません。

※本体に乾電池を入れる場合、前記の6. 乾電池の入れ方(5頁)を参照してください。

1. ⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。

2. ④機能切換スイッチ(USB出力/FM/AM/サイレン)を「USB出力」に合わせてください。

3. 乾電池の電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※乾電池で携帯電話の充電中はラジオやサイレンは使用できませんが、LEDライトやランタンは使用できます。但し同時使用した場合、携帯電話への充電能力が低下いたします。



注意

●アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をする恐れがあります。

●充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。

●更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

⑧内部電源から携帯電話を充電する方法。

※携帯電話への充電は通常アルカリ乾電池から行なってください。アルカリ乾電池がない場合にはあらかじめ満充電された内蔵充電電池を使うことも可能です。
※充電能力は内蔵充電電池の状態、携帯電話の種類の状態により大きく異なります。

- 1.⑩電源スイッチを「内部電源」に合わせてください。
- 2.④機能切換スイッチ(USB出力/FM/AM/サイレン)を「USB出力」に合わせてください。
- 3.本体に蓄電した電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※充電電池で携帯電話の充電中はラジオやサイレンは使用できませんが、LEDライトやランタンは使用できます。但し同時使用した場合、携帯電話への充電能力が低下いたします。



内部電源に電気が残っていても、電圧電流値が低い場合は充電できません。必ず満充電にしてから始めてください。



注意 ○適合機種について

- PHSiには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでてくる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズへの充電はできません。

携帯電話充電の際の安全上の注意



メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いくださいますようお願い申し上げます。

最近のスマートフォン、アイフォーンの場合、内蔵のバッテリー容量が大きくなってきているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

◎iPhoneを充電する方法。

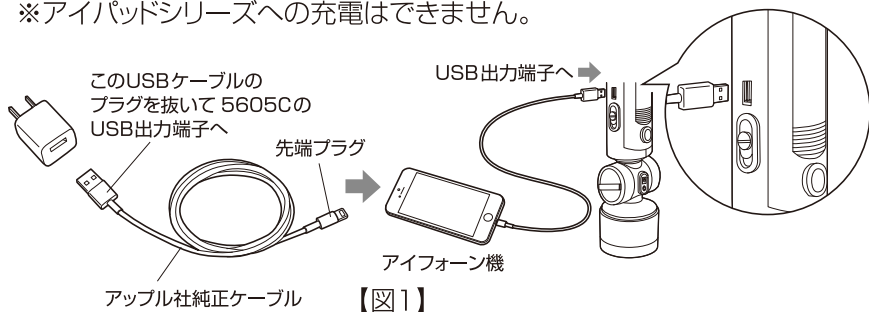
※iPhone用コネクタ(30ピンタイプ及びライトニングタイプ)は付属していません。

※iPhoneには二通りの充電方法があります。

①アップル社純正のUSBケーブルを使用する。

アップル社の純正のケーブルをご使用ください。(純正ケーブルのUSB端子を本体の⑬携帯電話充電端子(USB出力)に差し込み、ケーブルの反対側の先端プラグ側をお手持ちのiPhone機に差し込んでください。)【図1】

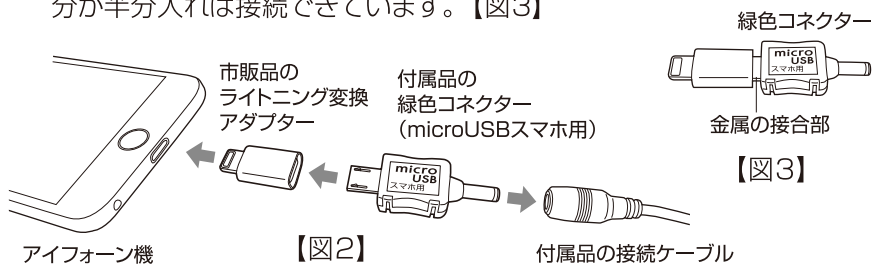
※iPadシリーズへの充電はできません。



②付属品の緑色microUSBコネクタから市販のライトニング変換アダプターを使用する。

※市販品のライトニング変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、iPhone機のライトニング充電端子に差し込んでください。【図2】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図3】



※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の12(13、14頁)をそれぞれ参照ください。

◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

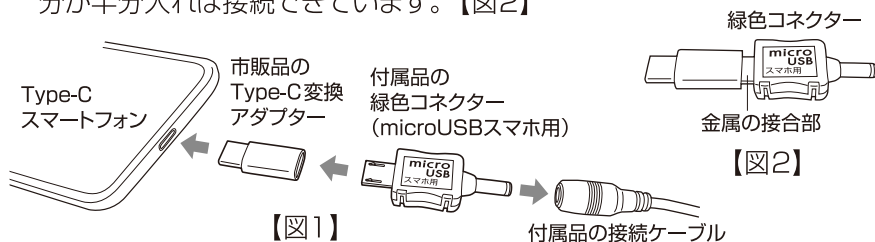
※Type-Cコネクタは付属していません。

※Type-Cへの変換は二通りの方法があります。

①付属品の緑色microUSBコネクタから市販のType-C変換アダプターを使用する。

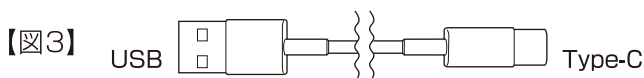
※市販品のType-Cへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図1】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図2】

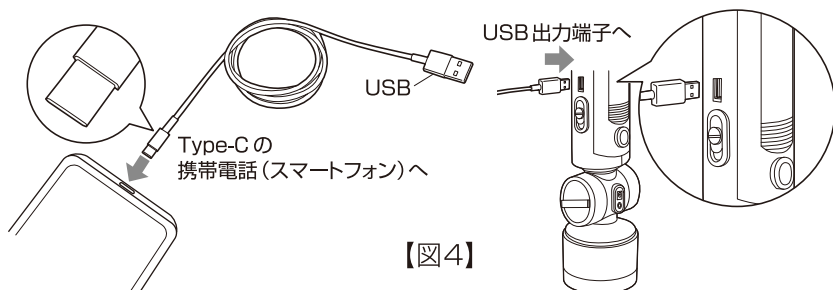


②USBプラグからType-Cへのケーブルを使用する。

※市販品のUSB/Type-Cケーブルをご使用ください。【図3】



※5605C本体の⑬携帯電話充電端子(USB出力端子)に差し込み、Type-C側のプラグを携帯電話(スマートフォン)に差し込んでご使用ください。【図4】



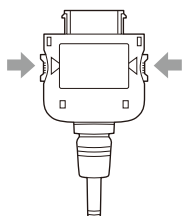
※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の12(13、14頁)をそれぞれ参照ください。



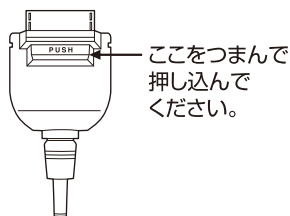
携帯電話接続コネクターのさし込みのご注意

- ※3種類(青ラベル・オレンジラベル・緑ラベル)のコネクターを使用される場合、表/裏にご注意ください。ラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下向きにしてさし込んでください。
- ※(緑ラベル)コネクターをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。
- ※緑色ラベルコネクター(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
- ※ドコモ/ソフトバンク3G用(青ラベル)を抜く時は両サイドにある押し込み用ツマミを十分に押してから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)
- ※au用(オレンジラベル)を抜く時は裏側にある押し込み(PUSH部)をしっかりと押し込んでから引き抜いてください。(このまま押さずに引き抜くとコネクターの金属ストッパーが破損してしまいます。)

ドコモ/ソフトバンク用
(青ラベル)



au用
(オレンジラベル)



- ※形状の異なるコネクターを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。
- ※携帯電話にケース等をしたまま充電動作をした場合、ケースの形状によっては上記コネクターのさし込みが不十分であったり、正しくさし込みができない場合がありますので予めご了承ください。(ケースを外せば正しく装着することが出来ます)
- ※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

13. 各機能の使用時間の目安

※諸条件により使用時間は異なります。この表はあくまでも目安であり、必ずしもお約束できるものではありません。おおよその目安になりますので、あらかじめご了承ください。

◎『ダイナモハンドルによる充電の目安』

※手巻きハンドルを120回転/分のペースで回してください。

機 能	360回転 (3分間)	備 考
LEDライト	約8～10分	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約1～2分	徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約15分	音量によります。
サイレン	約1分	徐々に音量が小さくなります。

※上記の表はあくまでも目安です。使用条件、環境などにより効率が異なりますのでご了承ください。回転数を増やせば、さらに長時間の使用が期待できます。

◎『太陽電池による充電の目安』…受光時間3時間の場合

機 能	太陽電池に よる充電	備 考
LEDライト	約30分	15分以降、徐々に光が弱くなります。
ランタン	約1～2分	徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約30分	音量によります。
サイレン	約1～2分	徐々に音量が小さくなります。

※充電効率は太陽光の強さ、ソーラー面と光が当たる角度などの諸条件により異なります。上記の図はあくまでも目安です。

◎外部USBポート(パソコンもしくはAC/USBアダプター)による充電の目安』(満充電にするには約3時間必要です)

機能	連続使用時間	備考
LEDライト	約5時間	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約30分	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約10時間	音量によります。
サイレン	約30分	徐々に音量が弱くなります。
携帯電話	約50分	連続通話時間
携帯電話	約40時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

◎『乾電池でのご使用時間の目安』

(日本製アルカリ乾電池単3×3本ご使用時)

機能	連続使用時間	備考
LEDライト	約48時間	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約5時間	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約60時間	音量によります。
サイレン	約3時間	徐々に音量が弱くなります。
携帯電話	約100分	連続通話時間
携帯電話	約50時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

○仕 様

- ・LEDライト：白色LED3灯
- ・ランタン：白色LED4灯
- ・受信周波数：AM:540~1600kHz FM/ワイドFM:76~108MHz (ラジオ)
- ・アンテナ：FM/内蔵アンテナ AM/内蔵フェライトパー
- ・電 源：内蔵ニッケル水素充電(Ni-MH型、3.6V/600mAh)
単3乾電池×3本(別売)、太陽電池、手巻きダイナモ、
AC/USBアダプター:5V500mA(別売)
- ・発 電 機：ダイナモハンドル(双方向回転式)
- ・付 属 品：携帯電話充電ケーブル(USBプラグ)
接続コネクタ3種類
・緑ラベル…スマートフォン用(microUSBプラグ)
・オレンジラベル…au用
・青ラベル…FOMA・Softbank3G用
ショルダーベルト
大地震対応マニュアル
取扱説明書/保証書(本書)
- ・イヤホンジャック：3.5mmジャック イヤホン(別売)
- ・本体寸法：69×69×343mm
- ・本体材質：ABS樹脂
- ・使用温度：-10~40℃

※単3乾電池は付属していません。

※家庭電源用AC/USBアダプターは付属していません。当社指定品のマルチパワーステーション2用AC/USBアダプター(品番5848)を別途お買い求めください。

製品保管時のご注意

本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなる恐れがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電やUSBによる充電を行うようにしてください。

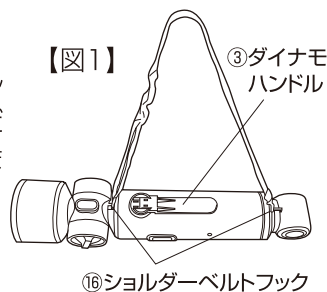
ショルダーベルトについて

※付属品のショルダーベルトを⑯ショルダーベルトフック(2箇所)に取り付けると持ち運びが便利になります。【図1】



注意

③ダイナモハンドルを回す際、ショルダーベルトがからまない様にご注意ください。ハンドルが破損したり、指がはさまりケガをする恐れがあります。





※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。
※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。